

## LENGTH関数

### 指定された値の文字数を数値で返す

#### ◇機能

指定されたフィールドの値やリテラル値の文字数を数値で返します。半角文字も全角文字も1文字としてカウントします。

#### ◇構文

LENGTH(カウント対象値,スペース処理方法)

引数	入力内容
1	<p>カウント対象値</p> <p>文字数をカウントしたいフィールド（文字型、数値型、日付時刻型）またはリテラル値、式を指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日付時刻型フィールドの「/」「:」の記号も1文字としてカウントされます。</li> <li>● 数値型フィールドのマイナス記号も1文字としてカウントされます。</li> <li>● 数値型フィールドの桁区切りのカンマ（書式設定で「桁区切り有り」を選択）はカウントされません。</li> <li>● 数値型（10進数）フィールドの小数点はカウントされません。</li> </ul>
2	<p>スペース処理方法</p> <p>「カウント対象値」の値のスペースの処理方法を数字で指定します。スペースの半角・全角は区別されません。</p> <p>0：先頭・末尾のスペースを除去して文字数をカウントする            1：すべてのスペースを除去して文字数をカウントする            2：すべてのスペースを除去せずに文字数をカウントする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「カウント対象値」で数値型フィールドを指定した場合は、スペースが存在しないため、どの処理方法を選択しても同じ結果になります。</li> <li>● 「カウント対象値」で日付時刻型フィールドを指定した場合で、フィールドの書式設定が「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」の場合は、日付と時刻の間にスペースがあるため、処理方法の選択により結果が変わります。</li> </ul>

LENGTH(カウント対象値,スペース処理方法)

カウント対象値  文字数を数えたい文字列やフィールド名を指定します。

スペース処理方法  文字列の前後のスペース処理方法を指定します。

指定した値またはフィールドの文字数を数字で返します。(半角も全角も1文字として計算)

- カウント対象値 : 文字数を数えたい文字列またはフィールド名を指定します。
- スペース処理方法 : 末尾にスペースが含まれている場合に当該スペースの処理方法を選択します。
  - 0 : 文字列の先頭・末尾のスペースを除去して文字数を数えます。
  - 1 : 文字列の全てのスペースを除去して文字数を数えます。
  - 2 : 文字列の全てのスペースを含めて文字数を数えます。

OK キャンセル

## ◇処理の例

カウント対象 値のデータ型	式	フィールド1の値/書式	戻り値	説明
文字型	LENGTH([フィールド1],0)	ab■c■	4	
	LENGTH([フィールド1],1)	※ここでは、■をスペースとします。 bとcの間、cの後ろにスペースが あります。	3	
	LENGTH([フィールド1],2)		5	
数値型 (整数)	LENGTH([フィールド1],0)	1000	4	
		1,000	4	桁区切りのカンマはカウ ントされません。
		-1000	5	マイナス記号はカウントさ れます。
		-1,000	5	
数値型 (10進数)	LENGTH([フィールド1],0)	1000.0	5	小数点はカウントされま せん。
		1,000.0	5	
		-1000.0	6	
		-1,000.0	6	
日付時刻型	LENGTH([フィールド1],0)	2023/2/01 10:15:45	19	
	LENGTH([フィールド1],1)		18	日付と時刻の間のスペー スが除去されます。
	LENGTH([フィールド1],2)		19	